



横浜トリエンナーレサポーター
Hama-Treats!
ハマトリーツ!



横浜トリエンナーレ
YOKOHAMA TRIENNALE

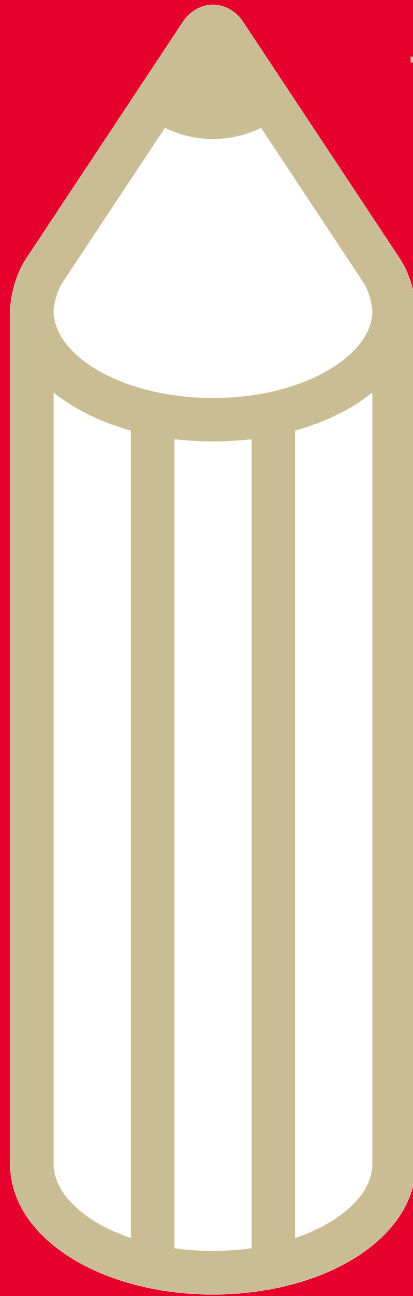
トリエンナーレ

2017

vol.9,10,11

TRIENNALE
SCHOOL
2017

www.yokotorisup.com



トリエンナーレ学校
冬・春期講座 参加者募集中

トリエンナーレ学校は、横浜トリエンナーレを一緒に盛り上げるサポーター(ボランティア)活動の一環として、2005年から始まりました。2017年8月から開催の「ヨコハマトリエンナーレ2017」に向けて、様々なテーマを設定し、現代アートや国際展について楽しく学んでいきます。



vol.

9

アートで地域をつなぐ
活動にみる創造性

1/25
(水)

vol.

10

建築家として
まちを刺激する試み

2/22
(水)

vol.

11

法と市民活動

3/22
(水)

トリエンナーレ学校冬・春期講座のテーマは「アートとまちをつなぐプレイヤーたち」。実践の場でアートとまちをつなげる取組を進めている方々の創造性に触れ、サポーター活動の可能性について考えます。そして、ヨコハマトリエンナーレ2017開催に向けて、サポーター活動がまちとどのように関わり、発展していくかを共に考えます。

vol.

9 アートで地域をつなぐ活動にみる創造性

1/25
(水)

札幌でアーティスト・イン・レジデンス運営から国際展の市民活動まで、幅広く活動している漆崇博氏。アートでまちをつなげる「場」づくりの原動力や、協働が発芽する仕組みについて学びます。

●日時：2017年1月25日(水) 19:00~21:00

●講師：漆崇博

無料



Profile 漆崇博 Takahiro Urushi

1977年北海道生まれ。一般社団法人AISブランニング代表理事。北海道各地でのアーティスト・イン・スクール事業のコーディネートを中心に、香川県観音寺市におけるまちづくり事業、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業、北海道コミュニケーション教育ネットなど芸術文化を媒介とした事業運営や、コミュニティスペースオノベカ、さっぽろ天神山アートスタジオ(札幌市)、SIAFラボ(札幌国際芸術祭)の運営などを担っている。

vol.

10 建築家としてまちを刺激する試み

2/22
(水)

横浜や石巻など各地のコミュニティを巻き込みながら活動を展開している西田司氏。実践的事例から、協働の輪の広げ方やまちとアートをつなげるための作法について学びます。

●日時：2017年2月22日(水) 19:00~21:00

●講師：西田司+木村洋太

無料



Profile 西田司 Osamu Nishida

建築家。使い手の創造力に対話型手法で引き上げ、様々なビルディングタイプにおいてオープンでフラットな設計を実践するオンデザイン代表。主な仕事に「ヨコハマアパートメント」(JIA新人賞、ヴェネチアビエンナーレ日本館招待作品・審査員特別表彰)、「FISHINOMAKI 2.0」(グッドデザイン復興デザイン賞、地域再生大賞特別賞)、島根県海士町の学習拠点「隠岐国学習センター」など。現在横浜DeNAベイスターズのコミュニティホールパーク化構想を協働。

Profile 木村洋太 Yota Kimura

株式会社 横浜DeNAベイスターズ経営戦略・IT戦略部部長。2007年米系戦略コンサルティングファームBain and Company東京支社に入社。2012年株式会社横浜DeNAベイスターズに入社。事業計画策定、動員イベント立案、球場改修計画策定、マーケティング分析・戦略策定、プロモーション関連などを担当の後、2014年事業本部チケット営業部部長を経て、2015年より現任。

vol.

11 法と市民活動

3/22
(水)

木村草太氏をお招きし、法律という視点から市民活動を捉えることで、今後の市民活動・市民協働の発展の方向性や、活動範囲の拡がりについて多面的に考えます。

●日時：2017年3月22日(水) 19:00~21:00

●講師：木村草太

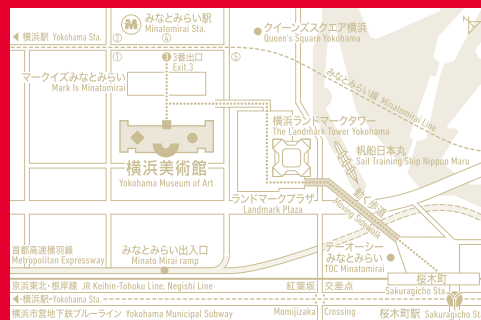
無料



Profile 木村草太 Sota Kimura

1980年生まれ。東京大学法学部卒。同助手を経て、現在、首都大学東京教授。テレビ朝日系列「報道ステーション」のコメンテーターなど、メディア出演も多数。助手論文を基に「平等なき平等条項論」(東京大学出版会)を上梓。法科大学院での講義をまとめた「憲法の急所」(羽鳥書店)は「東大生協で最も売れている本」と話題に。著書に「キヨミズ准教授の法学入門」(星海社新書)「憲法の創造力」(NHK出版新書)、共著に「いま、(日本)を考えるということ」(河出書房新社)など多数。

会場・参加方法



横浜美術館 レクチャーホール
横浜市西区みなとみらい3丁目4-1

《電車》

- みなとみらい線(東急東横線直通)
「みなとみらい」駅(3番出口)から、
マークイズみなとみらい(グランドギャラリー) 経由徒歩3分、
または「マークイズ連絡口」(10時~) から徒歩5分。
- JR(京浜東北・根岸線)・横浜市営地下鉄
「桜木町」駅から「動く歩道」を利用、徒歩10分。

《バス》

- 桜木町駅から、市営バス156・292系統で「横浜美術館」下車。

E-mailまたはFaxにて、下の1・2を明記の上、
各回の開催日前日までに横浜トリエンナーレ
サポーター事務局までお申込み下さい。

1. 件名 トリエンナーレ学校参加希望
2. 本文 ①氏名 ②参加希望日 ③電話番号
④サポーター登録の有無



E-mail
info@yokotorisup.com



Fax
045-681-7606

講座は1回のみ参加も可能です

横浜美術館学芸員による 「美術コラム」

様々な視点からアートを紐解く「美術コラム」。
横浜美術館の学芸員など専門家が、アートや横浜
トリエンナーレについて分かりやすくお話しします。

2017夏、世界の現代アートが横浜に ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」

接続性や孤立、想像力や道標、独自性や多様性など、色々な捉え方ができる「島」「星座」「ガラパゴス」というキーワードを手掛かりに、先行きの見えない複雑な時代に、人間の想像力・創造力をもって、未来への知恵を多くの人々と共に考えていきます。

《会期》2017年8月4日(金)~11月5日(日) ※第2・4木曜日休場 《主会場》横浜美術館/横浜赤レンガ倉庫1号館